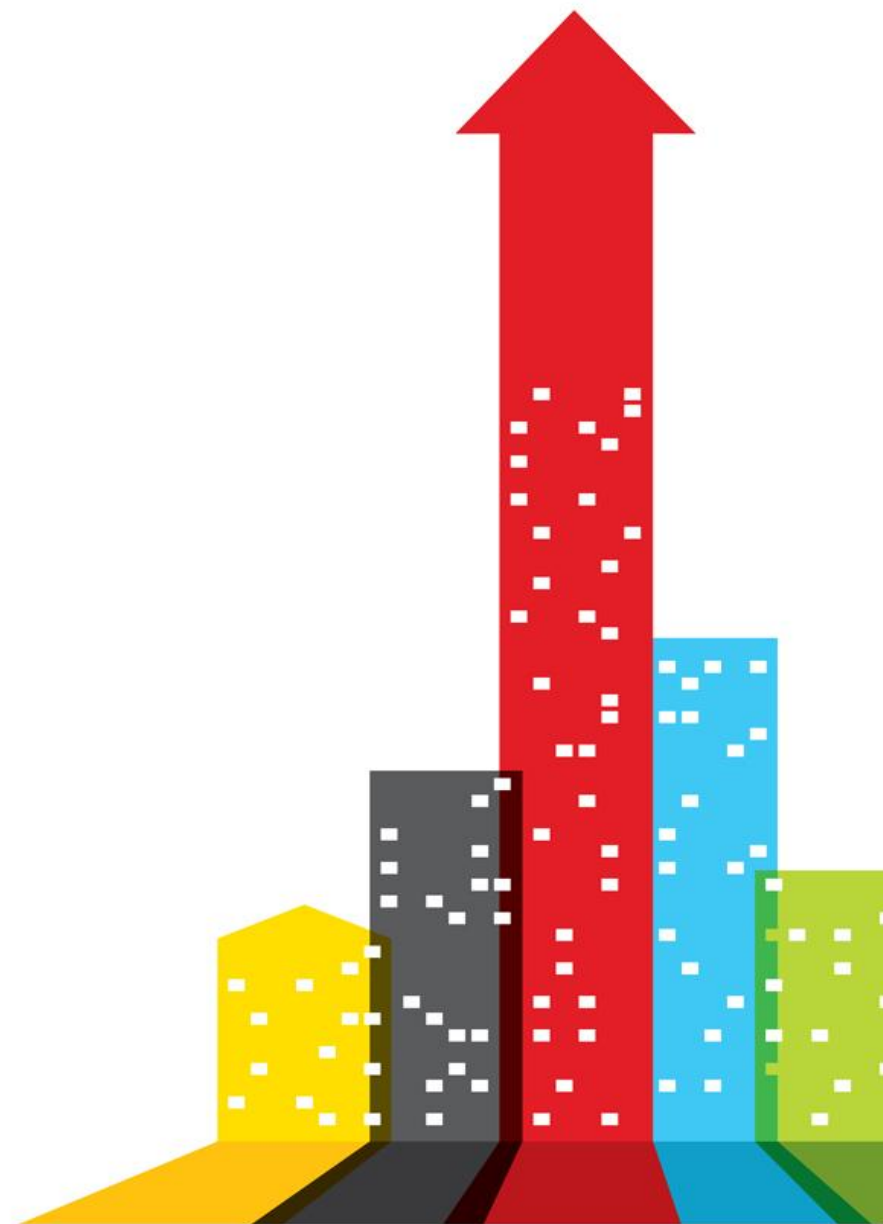


邦銀主要行のアジア業務を巡る環境

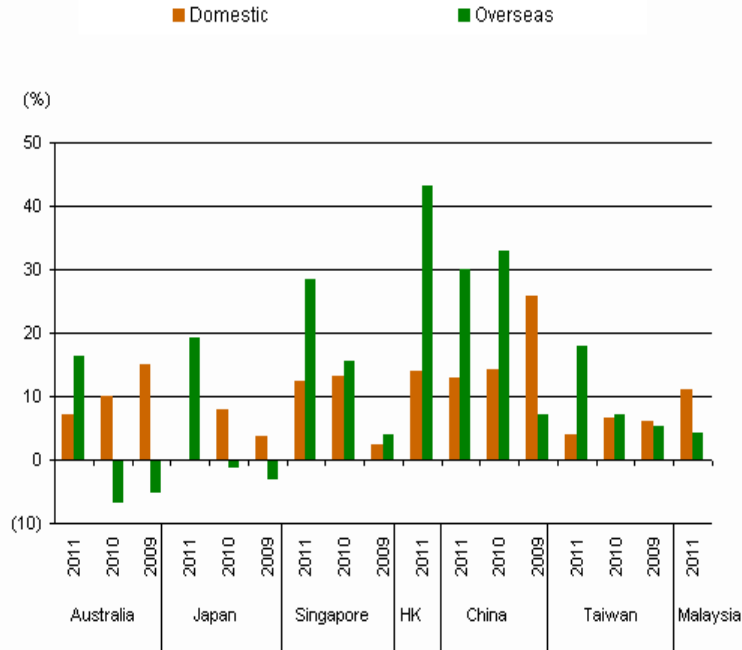
2012年10月12日
スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン
金融サービス格付け
マネジング・ディレクター

根本 直子



1. アジアの銀行の海外与信は急速に拡大

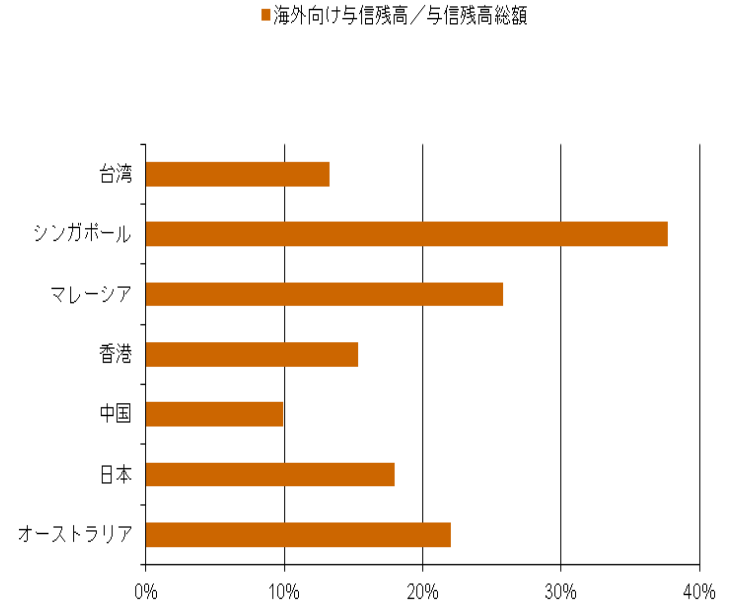
Growth In Credit Exposure



Source: Basel II Quantitative Disclosure Data.
 Note: Australia: Sept. 2011-Sept. 2010; Japan is annualized growth Sept. 2011-March 2011;
 Data of other systems is 2011; Nonbank Mainland exposures include loans granted/bonds bought in China and lending to Chinese entities (China Mobile, Sinopec, etc.) in Hong Kong; Malaysia does not include Indonesian subsidiary of CIMB Group.

© Standard & Poor's 2012.

図2 海外向け与信残高の比率



出所: バーゼルⅡ 定量的開示事項
 日本のデータは2012年3月時点、他のデータは2011年12月時点。台湾のデータは海外資産/資産総額。
 香港の比率は、2012年3月時点の**ノンバンクの大陸中国向け与信残高**(海外向け与信残高の目安)が資産総額に占める割合を表す(データ源: 香港通貨当局)。
 マレーシアの数値にはCIMB Groupのインドネシア子会社は含まれていない。

© 2012 スタンダード&プアーズ

2. 邦銀のアジア戦略の特徴

日本

- 日本企業の支援中心から徐々に顧客層を拡大しているが、ホールセール主体。クレジットリスクは総じて低い。地理的に多様化。
- 資源、インフラなどのプロジェクトファイナンス市場でプレゼンスが上昇。
- シンジケートローン、決済業務など手数料業務にも多様化。

シンガポール、香港、マレーシア、台湾

- 国内市場の成熟化、利ざやの低下から、隣接、ないし経済的な関連の強い中国、インドネシア、インドに拡大。中間層の成長を視野にリテール業務の拡大を企図(マレーシア、シンガポール)
- DBS(シンガポール)は40(国内)、30(中国)、30(その他アジア)の割合

中国

- 国内よりも海外事業の収益率(ROA)は低いが、国内での当局による与信制限、顧客サービス向上
- 資産の多様化、人民元国際化などが進出の理由。香港、タイで銀行を買収。海外資産のウエイトは低いが(10%)伸び率は高い。

邦銀の特徴

- 強み:規模が大きい。多国籍化した日系企業との取引。業務の多様性。
- 弱み:低スプレッド。地域への浸透が低い。預金基盤が弱い。

3.邦銀の海外業務:収益性、安定性に課題

- 利ざやの低さは、大企業、日系企業主体、調達コストが高い、経費率が高いことなどによる。今後は新興国のウエイト増加に伴う与信コストの管理が鍵。
- 資金調達面ではホールセールへの依存が高く、外貨市場の混乱の影響を受けやすい。

表 貸し出しの期中平均スプレッド

		スプレッド(%)	前年同期比
国内	個人部門	1.46	-0.03
	法人部門	1.13	-0.05
	企業金融部門	0.68	-0.03
国際部門運用資産		1.10	-0.04

* 貸し出し、貿易手形、有価証券の平均利回り

出所:三井住友フィナンシャル・グループの2012年3月期投資家向けプレゼンテーション資料

4. リテール業務拡大は収益性の改善につながる

- 手数料業務の強化、リテール業務の拡大
- グローバル化への対応(迅速な意思決定、ローカルな人材の登用、グローバルな人材育成)

邦銀のアジアでの主な出資、買収	
三菱UFJフィナンシャルグループ	中国銀行、申銀万国証券運用子会社(中国)、バンク・ヌサンタラ・パラヒャンガン(インドネシア)、CIMB(マレーシア)、大新金融集団(香港)、AMPキャピタルホールディングス(豪州)
三井住友フィナンシャルグループ	ベトナムエグジムバンク、コダック・マヒンドラ銀行(インド)、東亜銀行(香港)、国民銀行(韓国)
みずほフィナンシャルグループ	ベトコンバンク、新韓金融グループ(韓国)、みずほバリモアファナンス(インドネシア)、中信銀行(中国)
りそなホールディングス	りそなブルダニア銀行(インドネシア)
三井住友トラスト・ホールディングス	紫金信託有限責任公司(中国)子会社の日興アセットマネジメントは、ティンダル・インベストメント(豪州)、DBSアセットマネジメント(シンガポール)を買収